

〈出題内容・形式・配点〉

内容	形式	配点	試験時間
I 三角関数、指数・対数、級数、データの分析	記述	25	100分
II 微分、積分	記述	25	
III 空間図形(ベクトル)	記述	25	
IV 確率、数列	記述	25	
合計		100	

【出題の基本方針】

方程式、図形、三角関数、指数・対数、微分・積分、級数、数列、確率、データの分析などに重点を置き、高校レベルの基礎学力が身につけていることを測ることを念頭において作問した。教科書の内容の理解度と、着実に計算して答えを導く力を試す問題構成を心がけた。

【学習のポイント】

- ・方程式、図形、三角関数、指数・対数、微分・積分、級数、数列、確率、データの分析などに重点を置き、高校レベルの基礎学力を測ることを基本方針としている。
- ・教科書を何度も繰り返して読んで定義と基本的な考え方を理解し、定理を証明したり教科書の問題を確実に解いたりできるようにすることが大切である。グラフや図などを描きながら学ぶことを勧める。計算力を高め、教科書に書いてある各項目の相互の関連を考えながら応用問題に取り組むことが望ましい。